

事業所自己評価・保護者評価をうけて事業所内の分析

事業所の特色

- スペースが広く、遊具が多い。
- 長期休みの外出などが充実している。
- 集団・個別・グループ活動のバランスがとれている。
- 地域に開かれている。
- 多様なルーツの子どもがいる。
- 比較的スタッフが若い。
- カフェスペースがある。
- 就労に向けた活動をしている。
- 入浴サービスがある。
- 夕食会などのサービスがある。
- 地域の学校との連携をもっている。
- 部屋わり、予定表等で見通しを持てるように構造化をしている。

保護者のニーズ

- 発達や就労の問題を解決してほしい。
- 不登校ぎみの子どもを学校に行くように支援してほしい。
- 支援時間をもっと融通してほしい。
- 入浴をお願いしたい。
- 安心して過ごせる居場所を引き続きつづけてほしい。
- 学校以外での友だち関係を構築したい。
- 自立支援をお願いしたい。
- 学校からデイサービスまでの流れを大事にして、リラックスして過ごしてほしい。
- よりきめ細やかな支援をお願いしたい。



分析をうけて改善の方向

- ◎送迎等でスタッフが出てしまい、教室が手薄になる時間帯がある。
→スタッフを増員し、会議・勉強会などより子どもの支援を
- ◎不登校や家庭での問題がある場合の利用者の対応をどうするか。
→学校、家庭児童相談センター、保護者、相談支援員と連携して引き続き支援を行う。
- ◎保護者のニーズにどのように応えていくか。
→日々の困りごとや相談を送迎時、連絡時にキャッチしてPDCAサイクルを繰り返すことでニーズに円滑に応えていく。